

松江市発達・教育相談支援センター「エスコ」の5年間と今後の松江市の特別支援教育の在り方について(概要)

全体でも
81%達成!

第一章 松江市発達・教育相談支援センター「エスコ」の歩みと取組

I 「エスコ」開設の経緯

II 基本的な考え方

III 具体的な取組み

第二章 取組を振り返って(エスコ内検証)

I 振り返りの(検証)の視点

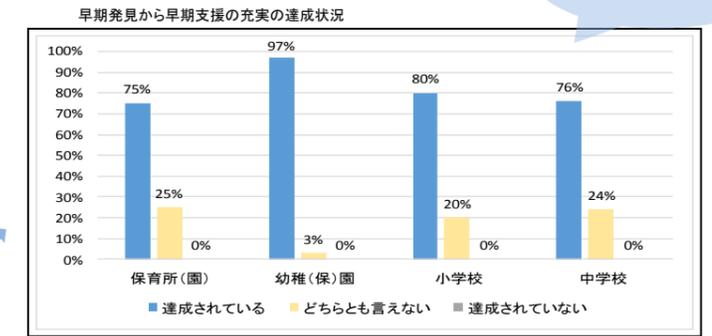
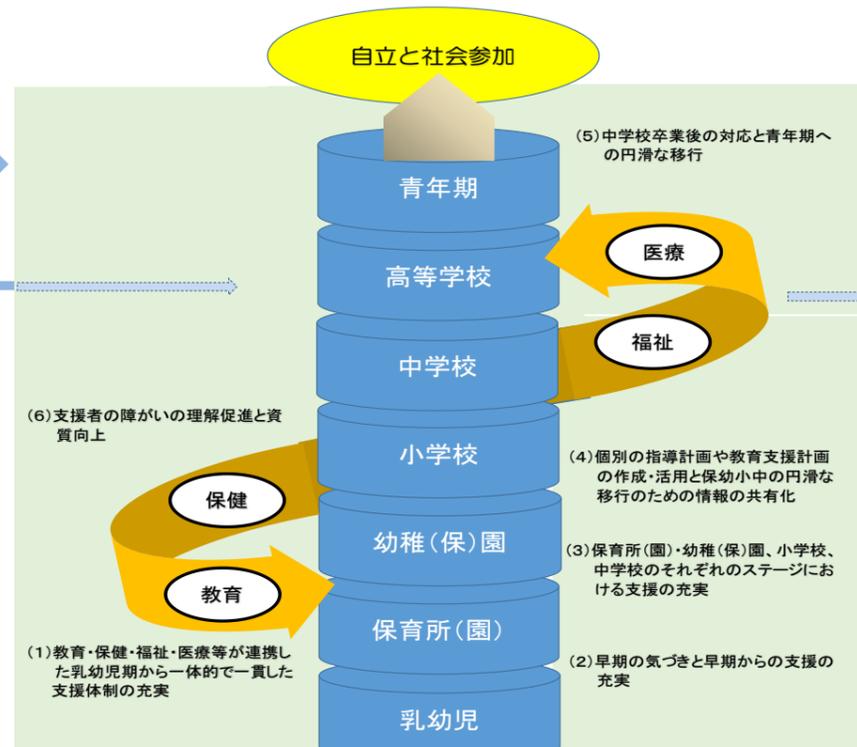
II 振り返り(検証)

第三章 今後の特別支援教育の在り方

I 松江市の特別支援教育の在り方を考える会の提言

II 今後の松江市の特別支援教育の推進に係る施策の方向性

資料 松江市の特別支援教育の沿革と体制



幼児児童生徒等別相談件数の状況

年度	幼児		小学生		中学生		高校生	成人	終結	合計
	～4歳	5歳	通常の学級	特別支援学級	通常の学級	特別支援学級				
H22										約700
H23	711	536	475	41	106	21	122	59		2102
H24	1247		516		127		181		31	
H24	945	984	621	121	244	48	78	83	21	3145
H25	1319	834	613	107	322	58	72	50	13	3388
H25	2153		720		380		122			
H26	1392	1378	635	85	273	38	16	35	15	3867
H26	2770		720		311		51			
H27	1463	1465	824	79	374	42	22	12	11	4292
H27	2928		903		416		34			

本市においては平成13年4月1日に教育委員会学校教育課の内室として「特別支援教育室」を新たに設置、全国的にも先進的な組織改編を行いました。平成19年4月1日施行の改正学校教育法により「特殊教育」は「特別支援教育」となり、この状況を踏まえて平成21年度に学校教育課の内室であった「特別支援教育室」を「特別支援教育課」へ昇格させるとともに人的拡充を図りました。そして、早期から教育・保健・福祉・医療等が一体となり乳幼児期から青年期までの一貫した相談や支援を行うため、平成23年4月1日に相談支援の拠点として「松江市発達・教育相談支援センター『エスコ』」を開設しました。

松江市の特別支援教育を考える会の提言

- 教育・保健・福祉・医療等が連携した、乳幼児期から一体的で一貫した支援体制の充実
 - エスコの指導主事及び心理士等の職員の増員による相談支援体制の拡大
 - 学校教育課や生徒指導推進室及び他機関と連携した相談対応の充実
 - 保健と教育が連携した乳幼児健康診査の充実
 - 「松江市家庭・教育・医療連携シート」の積極的な活用
- 早期の気づきと早期からの支援の充実
 - 支援者の増員(保育士・幼稚園指導員や介助員)による人的環境の整備
- 保育所(園)・幼稚(保)園、小学校、中学校のそれぞれのステージにおける支援の充実
 - エスコ指導主事による指導・助言の実施体制の強化
 - 保・幼・小・中学校の指導力の向上及び適切な支援の実施
 - 特別支援学校の助言による適切な支援の実施
 - 通級指導教室の担当者の増員及び中学校への新設
 - 特別支援教育支援員・特別支援学級介助員等の増員による人的環境の整備
 - 施設や設備・備品等の物的環境の整備
- 個別の指導計画や支援計画の作成・活用と保幼小中の円滑な移行のための情報の共有化
 - 個別の指導計画及び個別の教育支援計画等の作成と活用の周知
 - サポートファイル「だんだん」の内容の見直し及びさらなる周知と積極的な発信
 - 中学校と高等学校間での情報共有による一貫した支援の実施
- 中学校卒業後の対応と青年期への円滑な移行
 - 相談の調整・つなぎを担うエスコ職員(調整監)の配置
 - 中学校卒業後以降の相談を専門に対応するエスコ職員の配置
- 支援者の障がい理解促進と資質向上
 - 教職員の指導力、特別支援教育コーディネーターの力量向上のための必要な研修の実施
 - 家庭療育支援講座(ペアレントトレーニング)の拡大による保護者理解の促進
 - 関連誌(市報・PTA会報等)への掲載による積極的な発信による理解・啓発

今後の松江市の特別支援教育の推進に係る施策の方向性

- 教育・保健・福祉・医療等が連携した、幼児期から一体的で一貫した支援体制の充実
 - 中学校や青年期の相談を含め、総合調整を担う指導主事の配置及び臨床心理士等の充実
 - 生徒指導上の問題行動や不登校等の事例に係る的確な助言
 - 「松江市家庭・教育・医療連携シート」を効果的な活用と幼児期への拡充の検討
- 早期の気づきと早期からの支援の充実
 - 5歳児健診の二次診査の受診を促すための取組
 - 相談データを電子カルテシステムによる一元管理及び継続した相談の充実
 - エスコ及び幼稚(保)園における幼児の療育内容の充実や研修による担当者の支援力の向上及び年齢期の療育に係る検討
- 保育所(園)、幼稚(保)園、小学校、中学校のそれぞれのステージにおける支援の充実
 - 合理的配慮やその基礎となる環境整備を個別的・教育的ニーズを実現するための特別支援教育支援員及び特別支援学級介助員の適切な配置の検討
 - 特別支援幼児教室及び通級指導教室は、新設及び担当者の増員等について検討・県要望
 - 中学校から高等学校への接続時の通級指導教室からの積極的な情報提供
- 個別の指導計画や教育支援計画の作成・活用と保幼小中の円滑な移行のための情報の共有化
 - 「移行支援会議」の確実な実施促進。エスコ職員の積極的な参加
 - 支援を受けている幼児児童生徒の「個別の指導計画」及び「個別の教育支援計画」の作成及び活用促進
 - サポートファイル「だんだん」及び「すくすく子育て手帳」の利用の促進のための年間計画作成
- 中学校卒業後の対応と青年期への円滑な移行
 - 中学校と高等学校との間で必要な情報を共有・支援の継続のための担当者への説明や研修の実施
 - 青少年支援センターやサポートステーション「絆」等と連携した青年期相談の実施及び相談調整を行う職員の配置
- 支援者の障がい理解促進と資質向上
 - ユニバーサルデザインに係る通常の学級における支援の在り方に関する研修
 - 特別支援教育コーディネーター、特別支援学級等担当者への研修
 - 学力の形成につなげる体づくり、学級づくり、授業づくりに関する研修
 - 特別支援教育支援員、特別支援学級介助員への研修
 - 家庭療育支援講座(ペアレントトレーニング)及び保護者研修
 - 「松江市障がい者差別解消条例」に基づく、市民への特別支援教育の理解・啓発活動

相談は年々増加
しています

これまでのエスコの取組について、園・学校、関係機関等へのアンケート調査を実施し、その結果を踏まえてエスコ内での検証を行い「特別支援教育の在り方を考える会」で外部委員の意見を得て、今後の特別支援教育の推進に係る施策の方向性をまとめました。

